施工説明書

INAX

洗面化粧台

きらめきシリーズ

●洗面化粧台
GGXH-1207T、1057T、907T、757T
1205S、1055S、905S、755S
1205、1055、905、755
GGXO-907T、757T
905S、755S
905、755

施工される前に

●施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
●「保証書（取扱説明書裏表紙）」は貴店名、取付日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
●施工段階での欠陥工事は、製造物責任法に基づき二次責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようご協力ください。
●付属部品の内容と数量が合っていることを確認してください。

■付属部品

洗面化粧台（引出しタイプ）

品番	GGXH-1207T,1057T 907T,757T GGXH-1205S,1055S 905S,755S	GGXH-1205,1055 905,755
水栓金具	1セット	
固定用ねじ（φ4×50mmトラス）	2本	
排水トラップセット	1セット	
ホースガイド	1個	—
水受けトレイ	1個	—
扉コーナーキャップ	2個（D4Cの場合は、無し）	
戸当りゴム	—	
施工説明書 取扱説明書 お手入れ読本	各1部	

洗面化粧台（ニースペースタイプ）

品番	GGXO-907T,757T 905S,755S	GGXO-905,755
水栓金具	1セット	
固定用ねじ（φ4×50mmトラス）	4本	
排水トラップセット	1セット	
ホースガイド	1個	—
水受けトレイ	1個	—
扉コーナーキャップ	2個（D4Cの場合は、無し）	
戸当りゴム	2個	
施工説明書 取扱説明書 お手入れ読本	各1部	

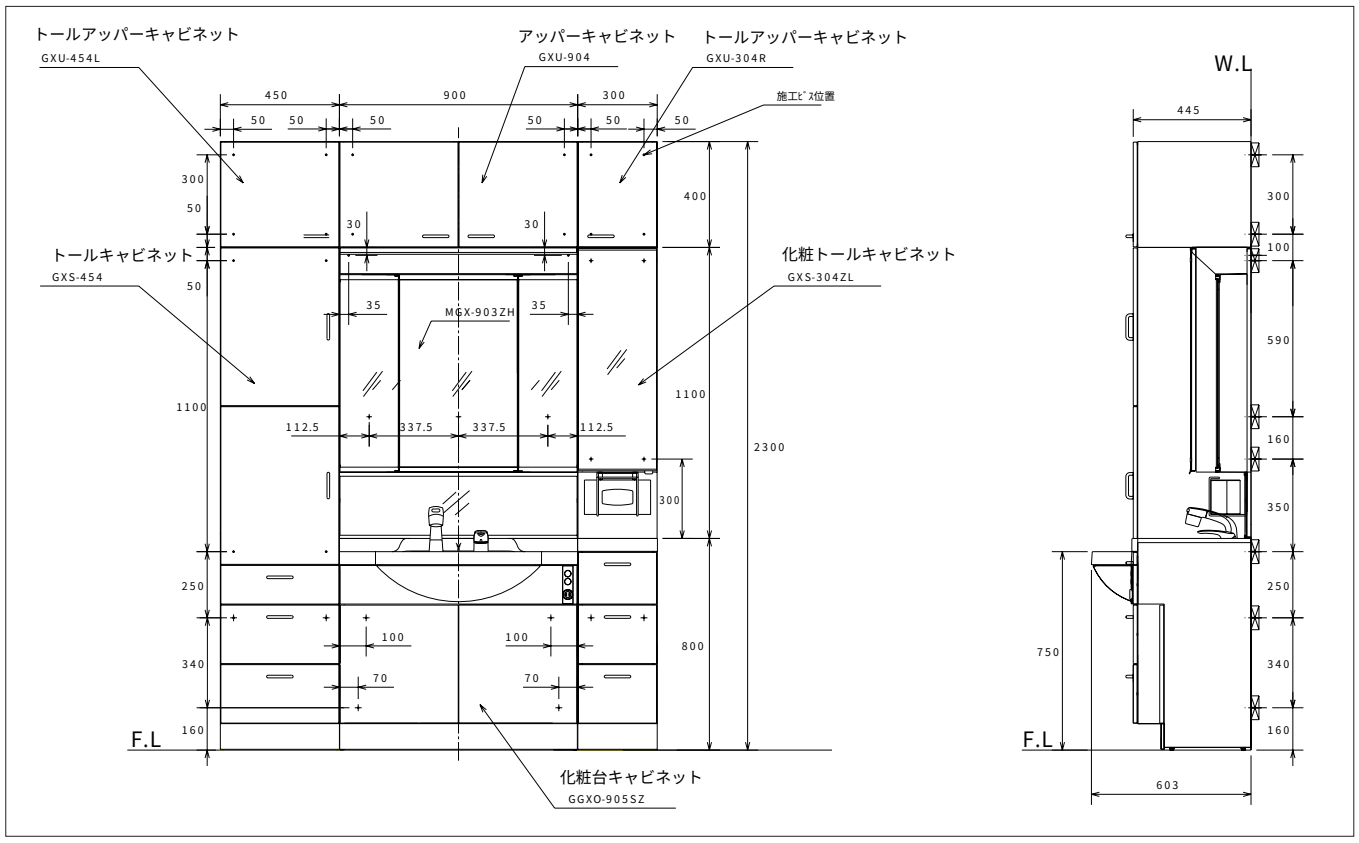
トールキャビネット

品番	GXS-454	GXS-154
棚板	2枚	3枚
棚板受ダボ	8個	12個
固定ねじ（φ4.5×60mmAなべ）	6本	壁固定用：3本（化粧キャップ2個） 前板固定用（φ4×16mmトラス）：3本（化粧キャップ3個）
取手	5個	1個
取手取付ねじ（φ4×20mmトラス）	10本	2本
付属品	—	スライドカゴ（1個）

化粧トールキャビネット

品番	GXS-304ZL(R)
棚板	2枚
棚板受ダボ	8個
固定ねじ	φ4.5×60mmAなべ：2本 φ4.5×60mmさら：4本（化粧キャップ4個）
取手	3個
取手取付ねじ（φ4×20mmトラス）	6本
付属品	ライティングミラー（1個）、化粧トレイ（1個） ティッシュボックスホルダー（1個）

■寸法図



ミドルキャビネット

品番	GXK-452,302,252
棚板	2枚
棚板受ダボ	8個
固定用ねじ（φ4.5×60mmAなべ）	4本
取手	1個
取手取付ねじ（φ4×20mmトラス）	2本
付属品	—

サイドベースキャビネット

品番	GXB-454H,304H	GXB-254Y(N)GL(R)
固定用ねじ（φ4.5×60mmAなべ）	2本	2本
取手	3個	1個
取手取付ねじ（φ4×20mmトラス）	6本	2本
付属品	—	洗濯機給水栓（1セット） 網カゴ（1個） フレキ管保護具（1個）

アッパーキャビネット

品番	GXU-1204 1054	GXU-904 754 654 604	GXU-454L(R) 304L(R) 254L(R) 154L(R)
固定用ねじ（φ4.5×60mmAなべ）	6本	4本	4本
取手	3個	2個	1個
取手取付ねじ（φ4×20mmトラス）	6本	4本	2本

ランドリーキャビネット

品番	GXK-652
棚板	2枚
棚板受ダボ	8個
固定用ねじ（φ4.5×60mmAなべ）	4本
取手	2個
取手取付ねじ（φ4×20mmトラス）	4本
付属品	ハンガー掛け（1本）

ベンチチェスト

品番	GXB-604B
固定用ねじ（φ4.5×60mmAなべ）	2本
取手	2個
取手取付ねじ（φ4×20mmトラス）	4本

安全のために必ずお守りください

ここでは施工に際して守らないと人身事故や、家財の損害に結びつく注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」
注意・・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が重傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」
⚠・・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）
⃠・・・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
・・・・・「分解してはいけません！」
❗・・・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注意

●この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合はキャビネットの取付けをしないでください。 ⃠
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。
●スライド蝶番の調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。 ❗
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
●軸吊り蝶番の場合、調節後は必ず全てのねじが固く締め付けられていることを確認してください。 ❗
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。
●温水を逆に配管しないでください。 ⃠
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

●トールキャビネット
GXS-454、154、304ZL(R)
●ミドルキャビネット
GXK-452、302、252
●サイドベースキャビネット
GXB-454H、304H、254Y(N)GL(R)

●アッパーキャビネット
GXU-1204、1054、904、754、654、604
454L(R)、304L(R)、254L(R)、154L(R)
●ランドリーキャビネット
GXK-652
●ベンチチェスト
GXB-604B

⚠ 注意

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。
●電源は必ず専用のコンセントからお取りください。また、コード類を束ねたまま、使用しないでください。
※発熱の恐れがあります。

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ケガや故障が生じる恐れがあります。
●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置しないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

お願い

●浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部や水を含んで腐る恐れがあります。
●直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。
※変色や変形の原因になります。
●不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。
●洗面ボウルは面は傷付きやすいので次の点について注意して施工してください。
・キャビネットや工具などの固い物を洗面ボウル上に落としたり、のせてひきずったりしないでください。
・洗面ボウル上にのらないでください。
※洗面ボウルに傷が付くと補修しても完全に元の状態には戻りません。

施工前の確認

電気温水器・足元温風機・フットスイッチについては、それぞれ付属の施工説明書をご覧ください。

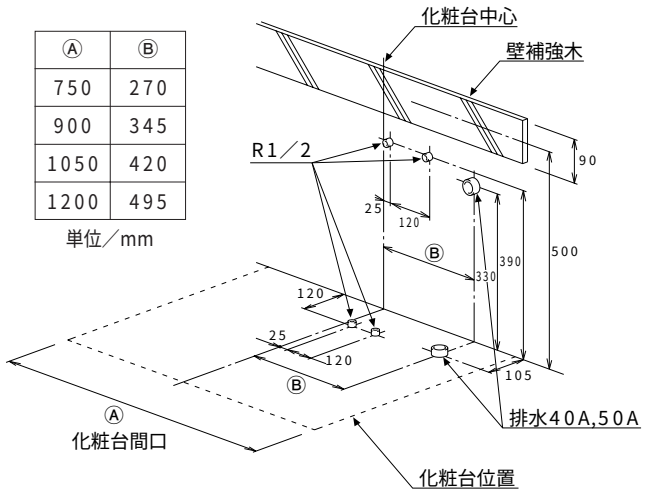
1. 配管工事の確認
※給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあることを確認してください。

⚠ 注意

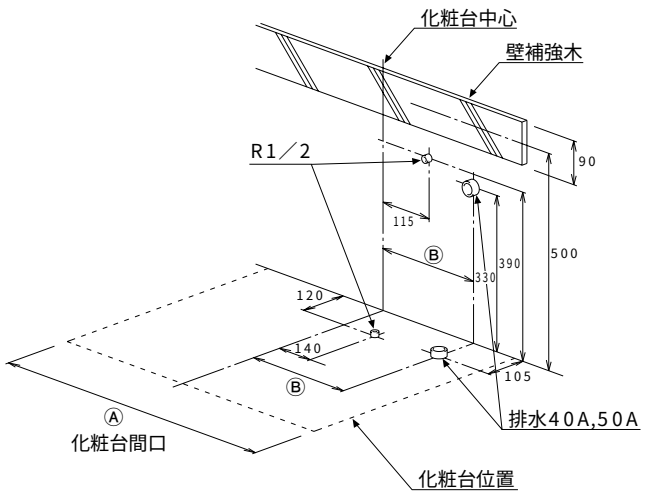
湯水を逆に配管しないでください。
※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

Ⓐ	Ⓑ
750	270
900	345
1050	420
1200	495

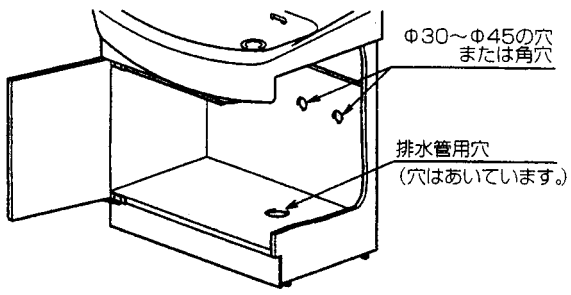
単位／mm



＜電気温水器設定の場合＞



2.化粧台背板部の穴加工
前項の「1.配管工事の確認」にて指示した給水、給湯管の位置から給水、給湯管を化粧台に引き込むために化粧台背板部にφ30 ～ φ45の穴または角穴をカッターナイフ等であけます。



3. 床面の確認
●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。
●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。
※キャビネットがぐらついたり、取付精度（納まり）が悪くなる恐れがあります。

お願い

浴室内などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
※木部が水を含んで腐る恐れがあります。

4. 壁面工事の確認

〔壁材、下地材の確認〕
●キャビネットの取付可能な壁面は下図に示す。
（1）乾式壁3種
（2）湿式壁2種　の以上5種類の壁面のみです。

〔補強木、仕上げ材の厚みの確認〕
●キャビネットの取付けには、乾式壁の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上材にキャビネットの取付けはしないでください。
●補強木の柱や、間柱への取付部材（ねじ等）は、キャビネットの固定強度（乾式壁の図を参照）と同等以上になるように種類、数を選定してください。
●乾式壁の場合は、補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木に届かせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。
●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートに届かせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。また、壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部をモルタル詰めにしてください。

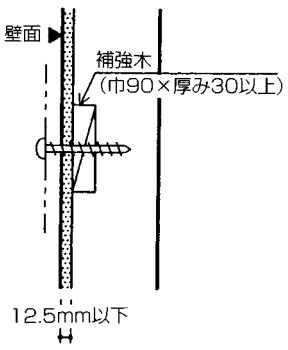
〔壁の不陸について〕
●キャビネット取付壁面の不陸は5mm/2m以下であることを確認してください。（キャビネットを壁に当て、壁とのすき間が5mm以下であることを確認してください。）

⚠ 注意

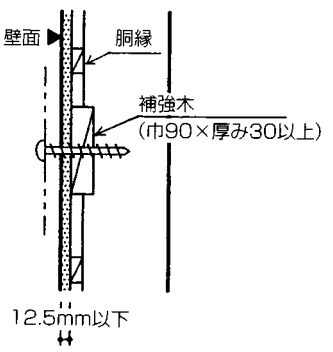
この説明書に記載されている以外の壁仕様（ALC壁等）の場合は、キャビネットの取付けをしないでください。
※キャビネットの取付強度が保てず、落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

（1）乾式壁

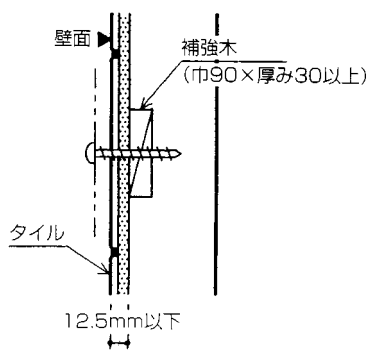
●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け

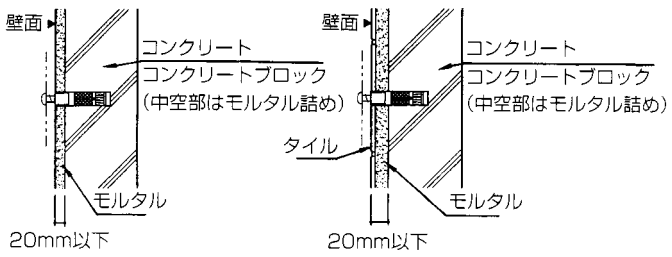


●タイル仕上げ



（2）湿式壁

●モルタル仕上げ　　●タイル仕上げ



※壁本体がコンクリートブロックの場合は、中空部はモルタル詰めしてください。

お願い

キャビネット取付壁面の不陸が5mm/2mを超える場合は施工しないでください。
※不陸があるまま施工するとキャビネットがひずむ場合があります。

5. 電源の確認

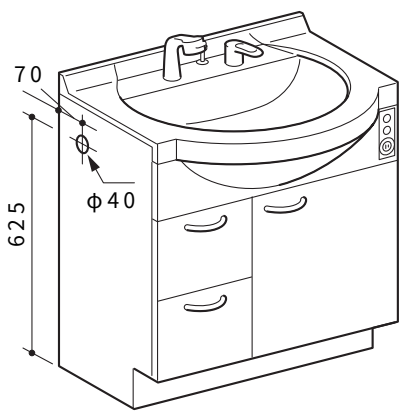
●電源コンセントはAC100Vをお使いください。
電源は必ず電気設備規準、内線規定に準じた配線でブレーカー（100V、15A）の設置された100V用コンセントからお取りください。
コンセントを新しく設置する場合（配線工事は電気工事店にご依頼ください）、電源コードの長さは2.8mですので、電源コードの届く位置に設置してください。

施工方法

⚠ 注意

各キャビネットは、施工完了までけこみ部やニースペース部の転倒防止部材等を外さないでください。
※転倒防止部材を外しますと、キャビネットが転倒し、破損やケガの恐れがあります。

■洗濯機用給水管の穴加工



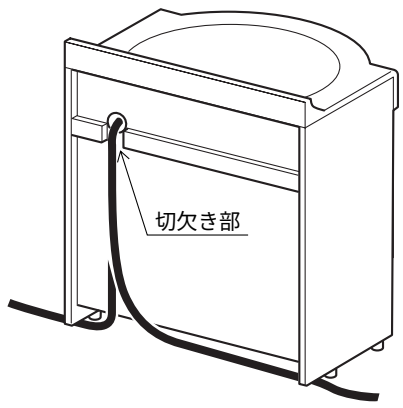
洗濯機水栓サイドベースキャビネットを設置する場合は、洗面化粧台のサイドベースキャビネット側にφ40の開口をしてください。

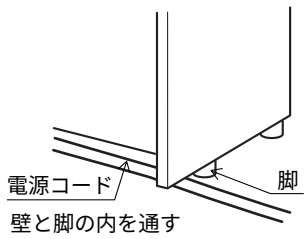
■コードの取出し

⚠ 注意

施工の際、コードは必ず取出口から出してください。
※コードを本体と壁にかみ込ませてしまうと発熱や発火の恐れがあります。

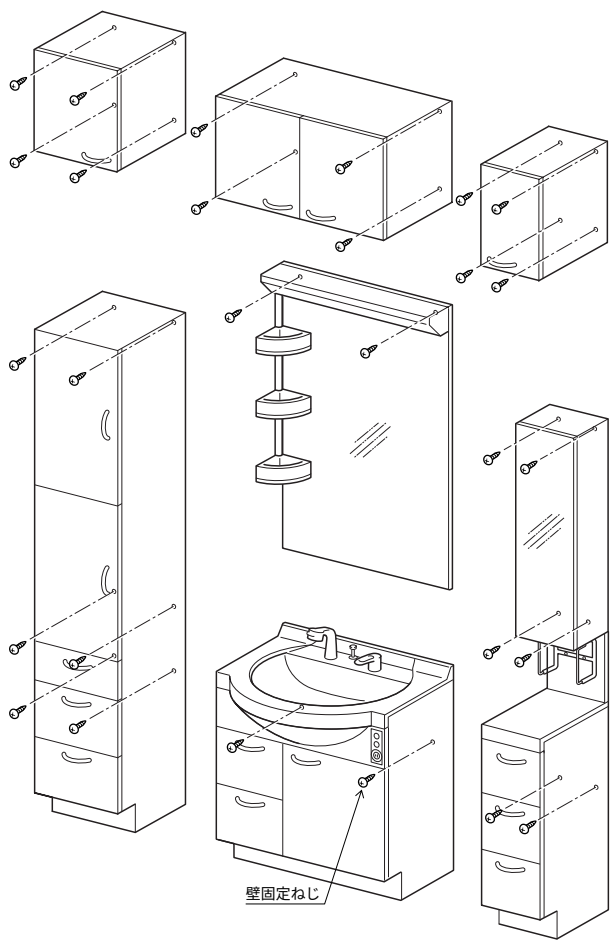
コードを取り出す側（電源コンセント側）のコード切り欠き部からコードを取り出し、壁と脚の間を通します。

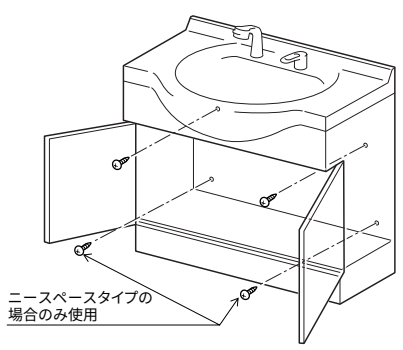




■キャビネットの取付け

●乾式壁の場合は付属のねじをご使用ください。
（洗面化粧台　　：φ4.0 × 50mm
周辺キャビネット：φ4.5 × 60mm）
化粧トールキャビネット（GXS-304ZL(R)）の場合、ミラーキャビネット部は、化粧キャップ付ビスをご使用ください。
●湿式壁の場合は、別途手配のAYボルトKB－4×60T(AY)をご使用ください。





〔乾式壁の場合〕
（1）キャビネットを指定位置に設置し、壁面に当てます。
（2）扉を開き、引出しを取り出して付属のねじを用いてキャビネット背板のねじ穴から壁面にねじ固定します。

〔湿式壁の場合〕
（1）AYボルトの位置を確認し、位置出しをします。
（2）φ7.5の下穴をあけ、切粉をよく取り除きます。
※ 下穴は電動ドリルを使用し正確に開けてください。
（3）AYボルトを挿入してゴム筒を押さえてボルトを抜き取ります。
（4）キャビネットを壁面に当て、キャビネット背板のねじ穴から壁面にボルトで固定します。

お願い

ミラーキャビネット、化粧トールキャビネット上部を取り付けるときは、化粧台・ベースキャビネットの取付ねじをゆるめてください。施工後は、取付ねじを確実に締めてください。

ワンポイント

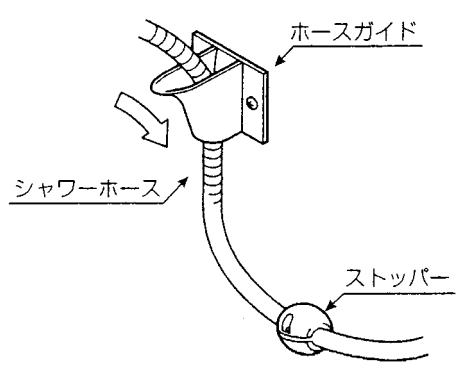
●周辺キャビネットを壁に固定する際、扉がじゃまになるときは、扉を外してねじ固定することもできます。
●周辺キャビネットの扉の着脱方法は、後述の「扉の取付け方法」「扉の取外し方法」をご覧ください。
●ねじ固定後は、必ず扉を取り付けてください。

■水栓の取付け

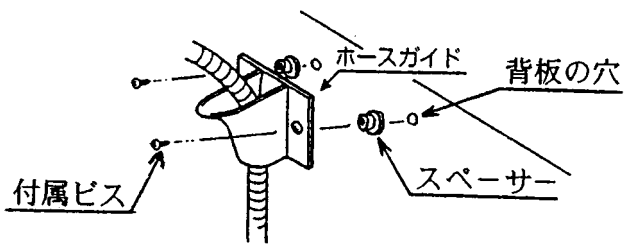
●水栓金具の取付けは、水栓金具の施工説明書をご覧ください。

■水栓のシャワーホースの取付け

SF-54S、54SN、SF-57T、57TNの場合
●キャビネット背板部のガイド穴2ヶ所に付属のねじ（φ3.5×16mmなべ）でホースガイドを取り付けます。
●寒冷地仕様の場合は、付属のねじとスペーサーを背板に固定してください。
●水栓のシャワーホースをホースガイドに通します。
●水栓に付属されているストッパーの取付けは、ホース部に貼ってあるテープの所に取付けてください。



※寒冷地仕様の場合



株式会社INAX

本　　社　☎0569-35-2700
関東支社　☎048-668-1177
関西統括支社　☎06-6539-3500
北海道支社　☎011-271-1713
甲信支社　☎0263-36-2166
中国支社　☎082-223-1710
東北支社　☎022-301-1701
中部統括支社　☎052-201-1717
四国支社　☎087-821-1701
首都圏統括支社　☎03-5541-7111
北陸支社　☎076-264-1710
九州支社　☎092-282-3154

■ 止水栓の取付け

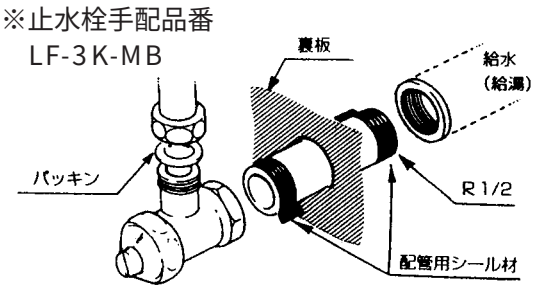
（止水栓は別売品です）

止水栓はメンテナンス上、取り付けてください。

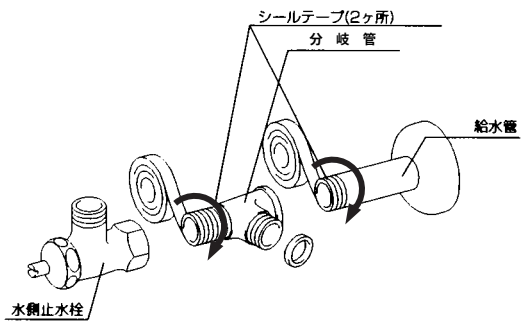
洗濯機給水栓を取り付ける場合は、水栓に付属の分岐管を給水側につけた後、止水栓を取り付けてください。

※止水栓手配品番

LF-3K-MB



※洗濯機給水栓を取り付ける場合



■ 洗濯機給水栓用フレキ管の取付け

（フレキ管は別売品です）

●キャビネット貫通部では、フレキ管に保護具（サイドベースキャビネットに同梱)を固定してください。

●洗濯機水栓と分岐管に、フレキ管を取り付けてください。

フレキ管手配品番

L=＊＊＊フレキカン（＊＊＊は表中の数字）

間口		750	900	1050	1200
洗濯機給水栓付ベースキャビネットの位置	右	650	750	800	950
	左	850	950	1100	1100

■ 排水トラップの取り付け

●洗面器下の排水器具の一部と排水トラップを図の様に取り付けてください。

⚠ 注意

横引き管が逆傾斜にならない様に取り付けてください。

※排水能力が悪くなります。

●排水口はあらかじめ洗面器に取り付けてあります。増締めはしないでください。排水口がゆるんでいる場合は、980N･cm｛100kgf･cm｝で締めてください。

⚠ 注意

強く締めすぎない様にしてください。

※排水口部分が破損し、漏水を引きおこす恐れがあります。

●排水口以外のナットはしっかりと締め付けてください。

●あらかじめ排水口管に袋ナット、スリップワッシャー、パッキンを通し、それからトラップU管を差込部の最後まで入れてください。

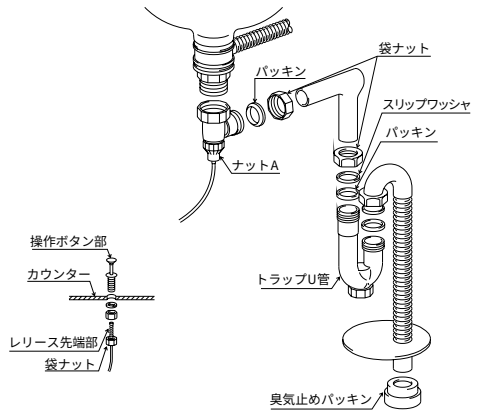
※ナットAはあらかじめ取り付けてあります。ゆるんでいる場合は、手でしっかりと締めてください。

⚠ 注意

ナット類は手でしっかりと締め付けてください。

※締め付けが不十分だと漏水を引きおこす恐れがあります。

●操作ボタン部はカウンターの水栓金具取り付け面に取り付けてください。操作ボタン部を取り付けた後、ボタン部の筒内に、レリース先端部（スプリング装着部）を挿入させ、袋ナットで締め付けてください。



●建築側排水管には臭気止めパッキンをはめてから排水ホースを差し込んでください。

臭気止めパッキンの接続部はシール材にてコーキングしてください。

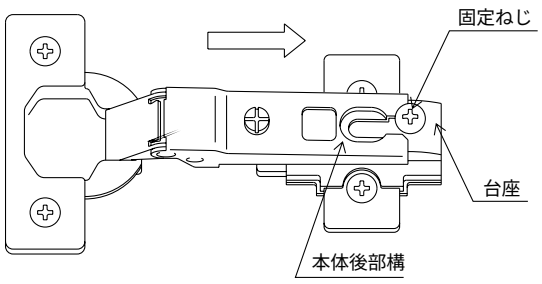
※排水トラップを建築側排水管に接続する際は、排水トラップを切らずに建築側排水管に十分挿入してください。

●キャビネットの底板にプレートをはめてください。

■ 扉の取付方法

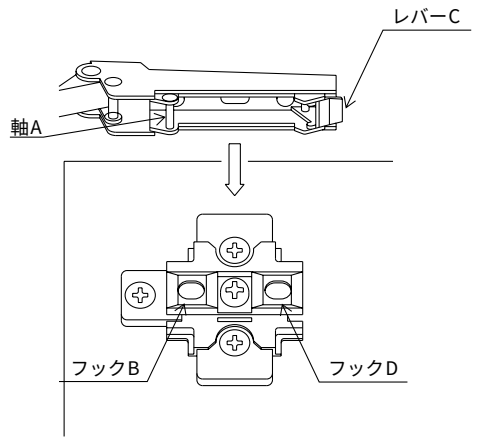
（1）洗面化粧台・サイドベースキャビネット（ねじ式）の場合

①本体後部溝を台座固定ねじに差し込み、固定ねじを締め付けます。

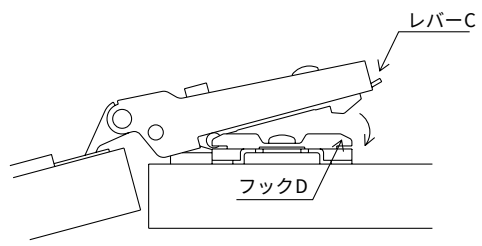


（2）ミドルキャビネット・トールキャビネット・アッパーキャビネット（ワンタッチ式）の場合

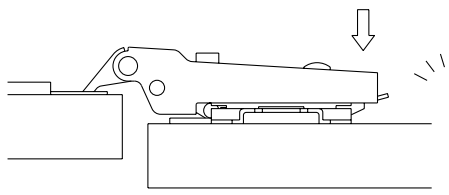
① 蝶番の軸Ⓐを、フックⒷに引っ掛けます。



② 蝶番のレバーⒸを、フックⒹに合わせます。



③ 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。



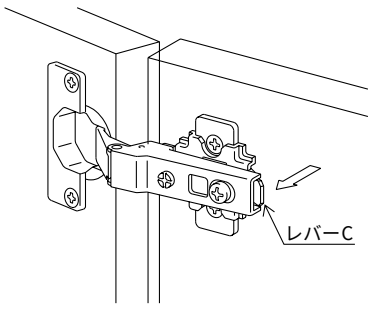
⚠ 注意

蝶番が確実に結合していることを確認してください。

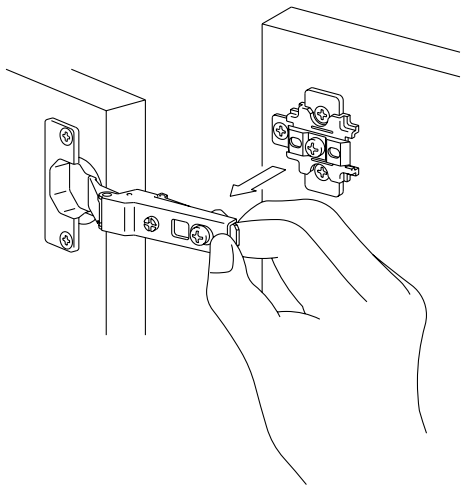
※結合が不十分ですと扉の落下によりケガをする恐れがあります。

■ 扉の取外し方法

①蝶番のレバーCを矢印の向きに引っ張ります。

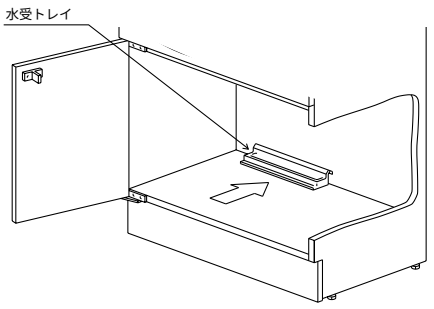


②蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。



■ 水受トレイの設置

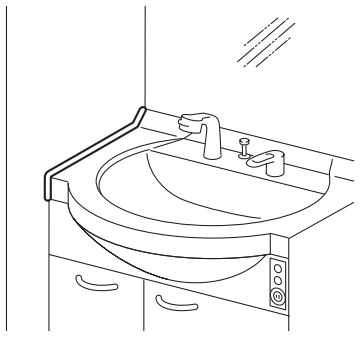
水受トレイをホースの下方に設置します。キャビネット背板の切込みにはめこみます。



■ カウンター端部のシール

カウンターが壁に接する面にはシール材でシールします。

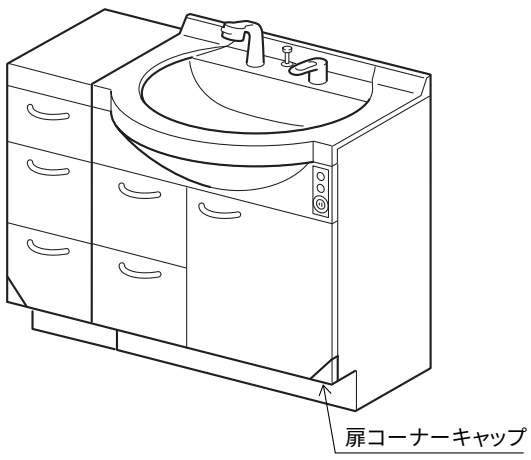
※接合部にはマスキングテープをしてシーリングしてください。

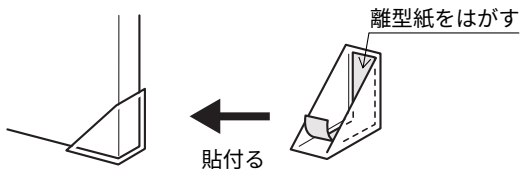


■扉コーナーキャップの取り付け（色：フルーツウッド(FIS)、クリアホワイト(GIC)の場合）

洗面化粧台に隣接して、トールキャビネットやサイドベースキャビネットが設置される場合は、トールキャビネットやサイドベースキャビネットの扉、引出しのコーナーにキャップを取り付けしてください。

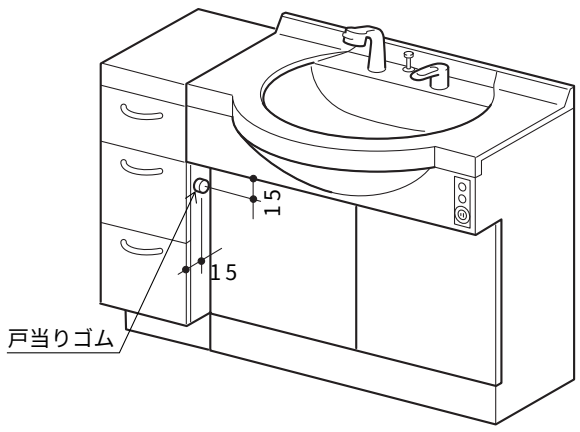
※色がダークウッド(D4C)の場合は不要です。





■戸当りゴムの取り付け（ニースペースタイプの場合）

ニースペースタイプの化粧台に隣接して、トールキャビネットやサイドベースキャビネットを設置する場合は、隣接するキャビネットに戸当りゴムを貼付けます。



■化粧トールキャビネット（GXS-304ZL(R)）のコンセント取り付け

● **取付前の準備**

- ● ミラー扉タイプ（GXS-304Z）の上部キャビネットにはコンセントが付いています。
- ● 建築側配線（100V用）を床面より1335mmの高さでミドルキャビネット壁面設置位置の端よりLタイプの場合右から、Rタイプの場合左から75mm内側に取り出してください。
- ● 建築側配線はブレーカー（110V、15A）の設置された専用回路からとってください。
- ● 建築側配線はVVF2.0を用いてください。

● **取付手順**

①上部キャビネットのコンセントを外しておき、背板の穴より建築側配線を通して取り出します。

②上部キャビネットを下部キャビネットの上に設置し、上部キャビネット内側より化粧キャップ付ねじ（φ4.5×60mm）（4本）で固定します。

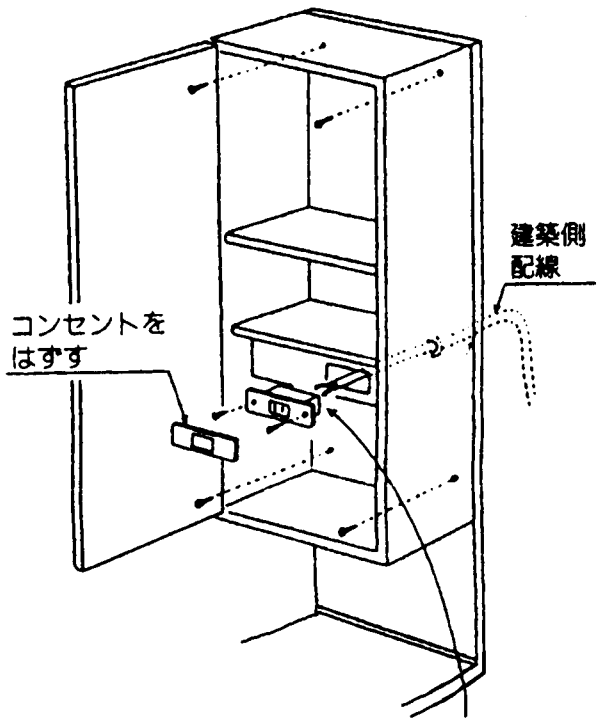
③配線接続

※電気工事登録業者が行ってください。

取り出した建築側配線をコンセント裏に差し込み、接続してください。接続後、コンセントを固定します。

※電気工事登録業者でない場合

建築側配線を取り出したままで接続せず、コンセントを固定し直しておいてください。



⚠ 注意

配線接続は電気工事登録者以外の人は、絶対に行わないでください。

※故障や感電の恐れがあります。

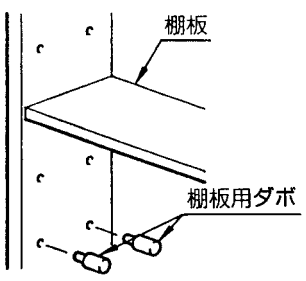
■棚板の取り付け

●キャビネット内の収納部側面の取付け穴に棚板用ダボ4個をしっかり差し込みます。棚板高さは棚板用ダボの差込位置により決まります。

⚠ 注意

差込が不充分ですと、棚板が落下することがあります。

※破損やケガの恐れがあります。



●棚板裏の4つのくぼみ部が、4つの棚板用ダボに合うように棚板をのせます。

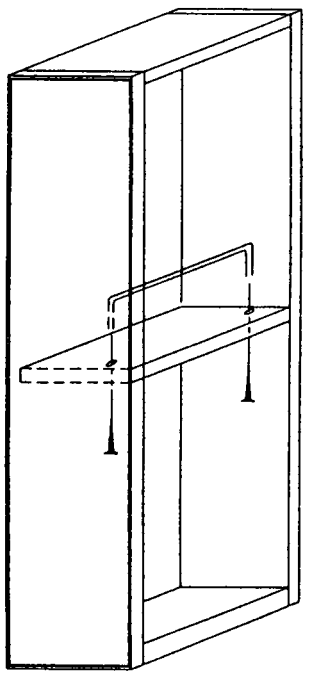
⚠ 注意

棚板がしっかりのっていないまま使用すると、物品や棚板が落下することがあります。

※破損やケガの恐れがあります。

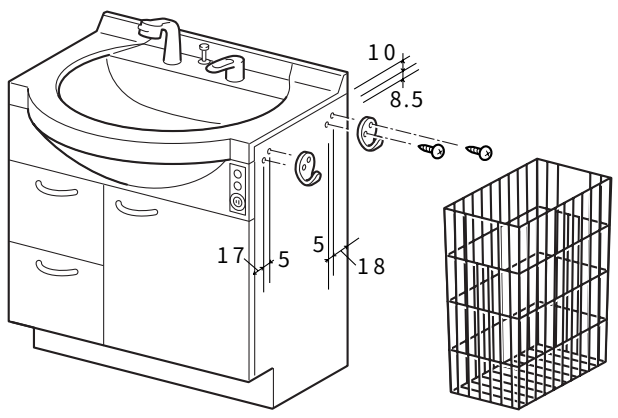
■トールキャビネット（GXS-154）の落下防止バー取り付け

キャビネット背板裏に同梱されている落下防止バーを棚板に取付け、下方からねじで固定します。



■サイドバスケットの取り付け

サイドバスケットを取り付ける場合は、下図により同梱のフックを固定ビス（φ2.7×16mmさら）にて取り付け後引掛けます。

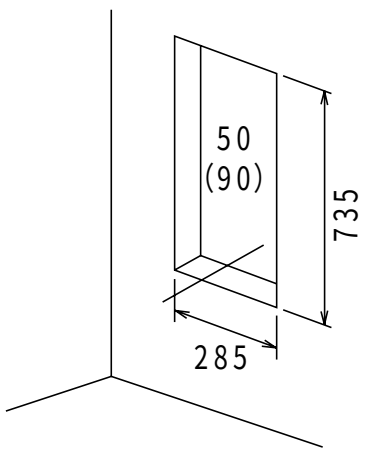


■ 埋込収納ボックスの取り付け

埋込タイプ（KCD-305PL(R)、KCD-309PL(R)）

● **取付前の準備**

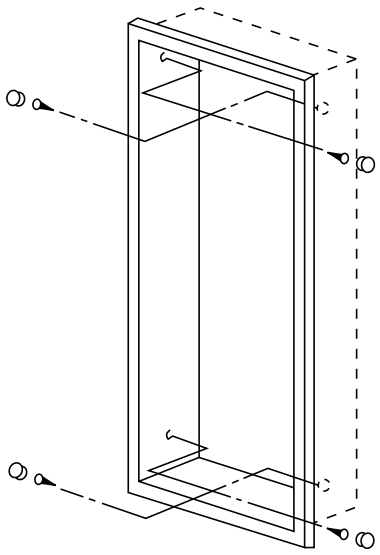
埋込タイプ（KCD-305PL(R)、KCD-309PL(R)）を取り付ける場合は、あらかじめ壁に開口部を設けておいてください。



注：KCD-305PL(R)は、埋込寸法50mm
KCD-309PL(R)は、埋込寸法90mmです。

● **取付手順**

本体を壁の開口部にはめ込み左右の側面にてねじ（4本：φ4.5×38mmさら）で固定してください。ねじ固定後、化粧キャップ（4個）をはめてください。



注：本体取付前に扉の開き勝手（R・L）を確認してください。

■ ティッシュボックスホルダーの取り付け

ティッシュボックスホルダーの取り付けは、ティッシュボックスホルダーの施工説明書をご覧ください。

■ タオルバーの取り付け

タオルバーの取り付けは、タオルバーの施工説明書をご覧ください。

■ オープン棚の取り付け

オープン棚の取り付けは、オープン棚の施工説明書をご覧ください。

施工後の確認

■ キャビネット本体の確認

（1）キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないことを確認します。
（2）キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットとのすき間がないことを確認します。
（3）ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は、必ずねじ位置をかえて取り付け直します。
（4）扉のふぞろいがある場合は、後述の「扉の調節」で調節します。

■ 吐水量、排水量の確認

（1）洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、吐水させて洗面器から水があふれないよう（オーバーフロー能力の範囲以内）水側、湯側の止水栓の開閉をして流量の調節をします。
（2）排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを、確認します。

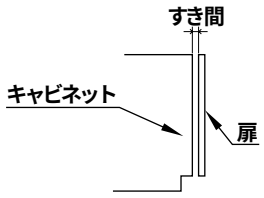
お願い

施工後は洗面ボウル面を養生して、後の工事などで傷が付かないようにしてください。
※洗面ボウル面に傷が付くと、補修しても完全に元の状態には戻りません。

プッシュラッチの調節

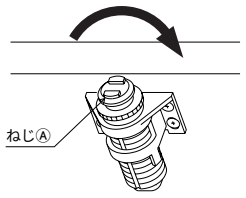
（1）扉の本体のすき間を確認します。

基準値：すき間2mm



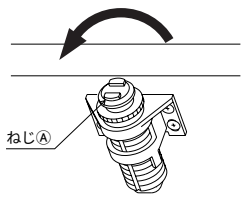
● **扉のすき間が大きい場合**

プッシュラッチのねじⒶを右に回します。



● **扉のすき間が小さい場合**

プッシュラッチのねじⒶを左に回します。

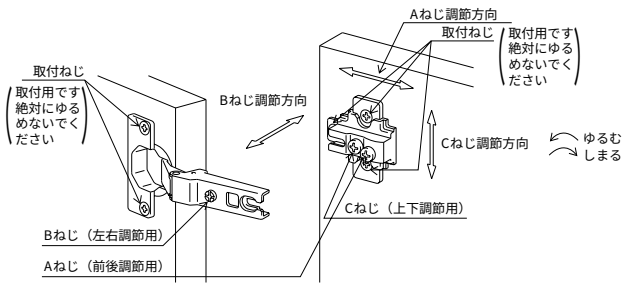


（2）扉を開閉しているプシュラッチが正しく動作するか確認します。

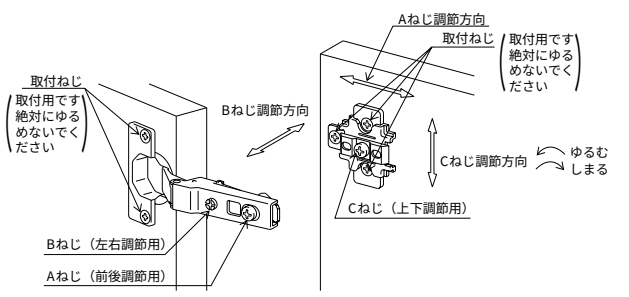
扉の調節（スライド蝶番ワンタッチ式、ねじ式）

（1）扉の調節

（a）洗面化粧台・サイドベースキャビネット（ねじ式）の場合



（b）ミドルキャビネット・トールキャビネット・アッパーキャビネット（ワンタッチ式）の場合



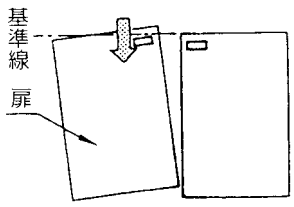
⚠ 注意

調節後は必ず、Aねじ、Cねじ、取付ねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※締付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

各ねじの調節量
Aねじ……前方向2.0mm、後方向1.0mm
Bねじ……右へ回す→手前へ4mm、左へ回す→後方へ1mm
Cねじ……上方向1.5mm、下方向1.5mm

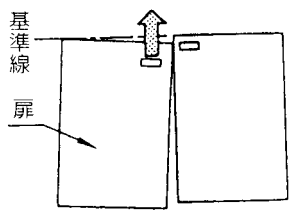
● **扉の先端が上がっているとき**

①扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



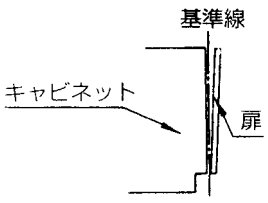
● **扉の先端が下がっているとき**

①扉下方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。または扉上方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。
②扉を閉めて確認します。
③正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



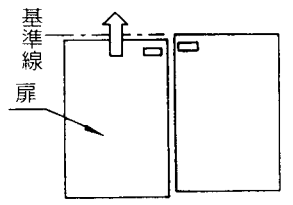
● **扉と側板のすき間が上下異なるとき**

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



● **扉の位置が上下異なるとき**

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



ワンポイント

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
●2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。